

## 平成26年第3回八雲町議会臨時会会議録

平成26年7月1日

### ○議事日程

- 日程第 1 会議録署名議員の指名  
日程第 2 会期の決定  
日程第 3 議案第 1 号 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について  
日程第 4 議案第 2 号 平成26年度八雲町一般会計補正予算（第5号）

### ○出席議員（16名）

1 番 佐 藤 智 子 君		2 番 横 田 喜世志 君
3 番 安 藤 辰 行 君		4 番 岡 島 敬 君
5 番 三 澤 公 雄 君		6 番 掛 村 和 男 君
7 番 田 中 裕 君		8 番 赤 井 睦 美 君
9 番 牧 野 仁 君		10 番 大久保 建 一 君
11 番 官 本 雅 晴 君	副議長	12 番 千 葉 隆 君
13 番 岡 田 修 明 君		14 番 黒 島 竹 満 君
15 番 斎 藤 實 君	議 長	16 番 能登谷 正 人 君

### ○欠席議員（0名）

## ○出席説明員

町長	岩村克詔君	副町長	伊瀬司君
副町長	植杉俊克君	総務課長	山形広己君
企画振興課長 兼行財政改革推進室長	萬谷俊美君	併選挙管理委員会事務局長 情報政策室長 兼新幹線推進室長	吉田邦夫君
財務課長 兼収納対策室長	梶原雄次君	会計管理者 兼会計課長	中野勝弘君
住民生活課長	山田耕三君	保健福祉課長	前小屋忠信君
農林課長 併農業委員会事務局長	佐藤隆雄君	水産課長	横山隆久君
商工観光労政課長	岡島建夫君	商工観光労政課参事	藤牧直人君
公園緑地推進室長	半谷広志君	環境水道課長	九十田亨君
落部支所長	柴田幸一君	教育長	瀧澤誠君
学校教育課長	荻本和男君	社会教育課長 兼図書館長 郷土資料館長 町史編さん室長	城近真君
体育課長	浅井敏彦君	学校給食センター所長	沢野治君
学校教育課参事	本庄伯幸君	監査委員	千田健悦君
総合病院事務長	齋藤真弘君	総合病院管理課長	成田耕治君
総合病院医事課長	五十川厚子君	総合病院建設企画課長	鈴木敏秋君
消防長	大泉達雄君	八雲消防署長	桜井功一君
八雲消防署消防課長	伊丸岡徹君		

### 【熊石総合支所・熊石教育事務所・熊石消防署・熊石国保病院】

地域振興課長	牧茂樹君	住民サービス課長	輪島光昭君
産業課長	井口啓吉君	熊石教育事務所長	池田大蔵君
海洋深層水推進室長	手塚剛君	熊石国保病院事務長	桂川芳信君

## ○出席事務局職員

事務局長	鈴木明美君	議事係長	戸田淳君
併監査委員事務局長		併監査委員事務局監査係長	
庶務係主任	吉田正樹君		
併監査委員事務局監査係主任			

[開会 午前10時00分]

### ◎ 開会・開議宣告

○議長（能登谷正人君） 本日の出席議員は16名です。

よって定足数に達しておりますので、本日の会議は成立いたしました。

これより平成26年7月1日招集八雲町議会第3回臨時会を開会いたします。

直ちに、本日の会議を開きます。

日程に入る前に議長より諸般の報告をいたします。

議長の日程行動関係であります。6月26日に札幌市において渡島総合開発期成会札幌要望が実施され、要望活動を行ってまいりました。

次の日、6月27日は東京都において渡島総合開発期成会東京要望が実施され、関係職員とともに各省庁へ要望活動を行ってまいりました。

以上、概略を報告いたしました。詳しいことにつきましては事務局に保管してあります関係書類をご覧いただきたいと存じます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

### ◎ 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（能登谷正人君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員に田中裕君と牧野仁君を指名いたします。

### ◎ 日程第2 会期の決定

○議長（能登谷正人君） 日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期を本日1日とすることにご異議ございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（能登谷正人君） ご異議がありませんので、本臨時会の会期は本日1日と決定いたしました。

### ◎ 諸般の報告

○議長（能登谷正人君） これより局長に諸般の報告をさせます。

○議会事務局長（鈴木明美君） ご報告いたします。

本臨時会に対し町長から提出された案件は、机上配付をしております議案2件であります。これら議案等説明のため、町長、監査委員及び予め委任または囑託を受けた説明員の出席を求めています。

以上でございます。

### ◎ 日程第3 議案第1号

○議長（能登谷正人君） 日程第3 議案第1号、北海道町村議会議員公務災害補償等組

合規約の変更についてを議題といたします。

提出者の説明を求めます。

○総務課長（山形広己君） 議長、総務課長。

○議長（能登谷正人君） 総務課長。

○総務課長（山形広己君） 議案第1号、北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更についてご説明申し上げます。この度の規約変更につきましては、上川中部消防組合及び伊達・壮瞥学校給食組合が解散により脱退することとなり、また道央廃棄物処理組合が設立されたことから新たに加入するため、規約の一部を変更しようとするものであります。附則として、この規約は総務大臣の許可の日から施行しようとするものでございます。

以上、簡単ではありますが議案第1号の説明とさせていただきますので、よろしくお願いいいたします。

○議長（能登谷正人君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

（「なし」という声あり）

○議長（能登谷正人君） 質疑ございませんね、質疑なしと認めます。

これより討論を行います。討論はございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（能登谷正人君） 討論なしと認めます。

これより直ちに本案を採決いたします。

お諮りいたします。本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（能登谷正人君） ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり、可決することに決定いたしました。

#### ◎ 日程第4 議案第2号

○議長（能登谷正人君） 日程第4 議案第2号、平成26年度八雲町一般会計補正予算（第5号）を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

○財務課長（梶原雄次君） 議長、財務課長。

○議長（能登谷正人君） 財務課長。

○財務課長（梶原雄次君） それでは議案第2号、平成26年度八雲町一般会計補正予算（第5号）について提案説明いたします。議案書の2ページであります。

この度の補正は歳入歳出予算の補正であります。歳入歳出予算の補正は、歳入歳出それぞれに305万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を114億6,003万1,000円にしようとするものであります。

それでは、事項別明細書により歳出から説明いたします。議案書の6ページ中段からであります。2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費30万円は、公共施設マネジメン

ト研修会開催事業の追加であります。公共施設は老朽化が進展しており、施設の安全性の確保や今後の方針、修繕に対する財政負担の増大が予想され、また公共サービス需要の変化に対応した更新投資を含む公共施設の実態把握と分析、改善策の策定等の公共施設マネジメントの重要性が高まっていることから、将来の公共施設のあり方を全庁的に研修するため、北海道市町村振興協会の地域づくり研修会支援金を活用し、11 節需用費から 14 節使用料及び賃借料で研修会開催に関する経費の計上であります。

5 款 1 項労働費、3 目緊急雇用創出推進事業 275 万 4,000 円の追加は、緊急雇用創出事業に新たに創設された、地域人づくり事業の第 3 次応募で採択された、地元水産物供給専門員人材育成事業業務委託料で、水産物に関心があり、八雲町で就職を希望する失業者等を 1 名雇用し、水産物に精通した供給管理者として人材を育成するため、八雲町漁業協同組合へ委託し実施するものであります。以上、補正する歳出の合計は 305 万 4,000 円の追加であります。

続いて歳入であります。議案書は同じページの上段になります。

15 款道支出金、2 項道補助金、4 目労働費道補助金 275 万 4,000 円は、歳出で説明しました緊急雇用創出事業にかかる補助金であります。

20 款諸収入、5 項 7 目雑入 30 万円は、地域づくり研修会開催事業支援金であります。補正する歳入の合計は、歳出と同額の 305 万 4,000 円の追加であります。

以上で議案第 2 号平成 26 年度八雲町一般会計補正予算（第 5 号）の提案説明といたします。よろしくお願いたします。

○議長（能登谷正人君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

○1 番（佐藤智子君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 佐藤さん。

○1 番（佐藤智子君） 今回のこの補正予算はどのような効果をねらった補正なんですか。もうちょっと具体的な説明がほしいと思います。緊急雇用創出事業補助金ですね。

○商工観光労政課長（岡島建夫君） 議長、商工観光労政課長。

○議長（能登谷正人君） 商工観光労政課長。

○商工観光労政課長（岡島建夫君） この事業につきましては、国の政策として行ってるものでございまして、いわゆる好循環実現のための経済対策ということで、国の方で平成 25 年度の補正予算として、平成 26 年の 2 月 6 日に 25 年度第 1 次補正予算として可決されたものによるものでございます。

要は雇用対策を行って景気循環を図ろうというものでございまして、それを受けて道が基金を設置して、各市町村に応募を求めて各町村で雇用対策を行うという事業でございます。

今まで 1 次から 3 次まで随時支庁の方から応募がありまして、今回は 3 次の公募による応募ということで、内示を受けたものでございます。

○1 番（佐藤智子君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 佐藤さん。

○1番（佐藤智子君） それで、その275万4,000円ですけれども、地元水産物供給専門員人材育成事業ってということですけども。その地元水産物というのは主にどういう水産物を目しているのかっていうのとですね、あと専門員人材育成事業というのは新たに専門員を確保するという狙いがあるかと思えますけども、その辺町内からの人材育成なのか町外からの人材育成を考えてるのか。その辺もう少し詳しくお伝えりたいと思います。

○水産課長（横山隆久君） 議長、水産課長。

○議長（能登谷正人君） 水産課長。

○水産課長（横山隆久君） 対象のものとしたしましては、八雲町漁協の現在開発中というか、試作中であります鮭節。それと、既存の商品でございます山漬け、いくら。そのようなものがございますけれども。特にこの今回の場合は鮭節の製造のプロフェッショナルを作る。それと加工流通センターという形で、インターネットやそれから年末の開店でもって直売もおこなっております。そちらの方に販売の説明をしながらPRをできる。そういう専門知識を持った職員といますか、現状では臨時ですけども、そのような形で専門員を育成したい。そのように考えているという情報でございます。町内というところで考えてございます。

○1番（佐藤智子君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 佐藤さん。

○1番（佐藤智子君） 町内でそういう専門員を育成したいということではよろしいんでしょうか。その専門的に知識を持った方を呼んでくるとかっていうことではないのかっていうのと、その募集というか、それは町内の人にこう専門員としてなってもらおうという考えなのかっていうことが1つ。それとですねその鮭節なんですけども、これから八雲の名物にしていきたいと考えているものだと思いますので、鮭節という形で売なのか、販売戦略っていうんですか、ネーミングですとかデザインですとか、そういうものもね、工夫して八雲の知名度が上がるような形で持っていきたいと思えますけども、その辺どのように考えているのかお伺いいたします。

○水産課長（横山隆久君） 議長、水産課長。

○議長（能登谷正人君） 水産課長。

○水産課長（横山隆久君） この事業費の中には人件費の他にですね、内部研修費、それから外部研修費というのが入っております。現在まず専門知識がなくても、そういう水産物に対して興味を持ってる方が募集してこられた場合、それに対応しながらその専門知識を深めていただくということで、研修費も組み込まれてございます。

それから販売戦略といますか、今試作品の中一部できておりますけれども、ネーミングとあっていうのは、これからまた検討課題になると思えますけれども、だいたいチラシのようなものの試作品は見ておりますけれども、チラシですね。商品紹介のチラシですね。パンフレットが出来てございますけれども、それをまた今後いろいろ検討しながら、より一層充実したものをつくっていく方向性になっております。

○議長（能登谷正人君） 他にございませんか。

○5番（三澤公雄君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 三澤君。

○5番（三澤公雄君） 既に漁協の方にこの鮭節に限らず、こういった関連で人材が2名ほど入っているとお聞きしてはいますけども。成果というんですか、上がってるんでしょうか。どのような状況なんでしょうか。さらに1名を雇用するというのであれば、何がしかの成果が見えてきてる段階なのかなと思いますし、鮭節という話も大分前から聞いてますんで、どこまでどういったものができて、もう販売まで目の前なのか。さらにちょっとお聞きしたいと思います。

○水産課長（横山隆久君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 水産課長。

○水産課長（横山隆久君） 過去にですね、2名ほど入りましたけれども、鮭節という部分に新たに取り組む中でですね、実は1名がですね責任が重いという部分で、ちょっと辞められたということをお聞きしております。どうしてもこの鮭節を本格的に製造するのにですね、やはり長期にわたって働いていただけるような人も育成しなければならないということでございますので、この制度を利用しながら研修をさせ、長期的に働ける方を育成していきたいという考えということでございます。

○5番（三澤公雄君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 三澤君。

○5番（三澤公雄君） 今の答弁をお聞きしますと、今度のこの採用に当たってはですね、さらに人選等、非常に繰り返さないようなことが必要だと思われるんですけども。そういうことに関しても、行政はどのように関わっていくんでしょうか。金だけ用意して終わりなのか。

○商工観光労政課長（岡島建夫君） 議長、商工観光労政課長。

○議長（能登谷正人君） 商工観光労政課長。

○商工観光労政課長（岡島建夫君） 国の制度といたしましてはですね。町が事業者へ委託をするということで、必ずハローワークを通して公募をする手続をしてください。当然、社会保険だとか最低でも雇用保険をかけてくださいというのがルールでございまして、そのルールに則ってやっていただきたいということではございますが、当然、政策上引き続き継続して雇用されるようにというふうなことは、事業者に対してお願いをしておりますが、募集にあたっての面接等にですね、行政が関わるということはしてございません。

○5番（三澤公雄君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 三澤君。

○5番（三澤公雄君） そうした場合ですね、さっきの人材も何がしか町もしくは道、国からの補助金で人材を採用したと私は思ってますけども。今後の監査等なんかも考えましても、ただ単にお金だけを用意してっていうだけでは採用された人材がですね、目的に沿った活動ができなかった場合、非常に厳しいことになるんじゃないかなと思います。ぜひ

ですね、もちろん採用には十分気をつけると思うんですけども。適切な人材を、長期雇用できるような人材の確保をバックアップする上でも、何がしかこう関わっていく必要があると思うんですけども。お金だけ用意するっていうのは、僕は税金の使い道としても非常に無責任だと思います。

○商工観光労政課長（岡島建夫君） 議長、商工観光労政課長。

○議長（能登谷正人君） 商工観光労政課長。

○商工観光労政課長（岡島建夫君） おっしゃるとおりでございますね。当然、お金を用意するといいますか、国の交付金を利用しております。税金を投入してることでございますので、当然効果が求められますし、当然効果が求められるような部分でございますね、町としても委託をかけてございます。人だけの問題でなくて、例えば経理の関係。それから雇用関係、それから社会保険・労災保険等の関係も含めてですね、いろいろと事業者の担当者に対して指導等をしてるところでございます。当然、道の方からもそういう指導をするようにというお話もございます。

ただ、人・個人採用されたものにとってですね、その資質等についてはなかなか難しい部分がございます。その辺は採用といいますか、応募、特に面接等の段階でよくやっぱり見極めていただくということしかないのかなというふうに思っております。

○議長（能登谷正人君） 他にございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（能登谷正人君） 質疑終結と認めます。

これより討論を行います。討論はございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（能登谷正人君） 討論なしと認めます。

これよりただちに本案を採決いたします。

お諮りいたします。本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（能登谷正人君） ご異議なしと認めます。

よって本案は原案のとおり可決することに決定いたしました。

## ◎ 閉会宣告

○議長（能登谷正人君） これをもちまして本臨時会に付議を予定されました案件はすべて議了いたしました。

よって平成26年第3回八雲町議会臨時会を閉会いたします。

[閉会 午前10時20分]